

すくすく のびのび いきいき

平成26年 5月 第5号 発行：赤穂市教育委員会 ☎0791-43-6857

《平成二十六年年度の出発にあたって》

赤穂市教育プランを推進します

赤穂教育プラン（赤穂市教育振興基本計画）は、まちづくりを推進する長期的な指針として、平成23年に策定された「赤穂市総合計画」を具体的に実現するために、市教育委員会が所管する「赤穂市の教育」について、その方向性と取組に関する十力年の基本計画をまとめたものです。

その実現のため、平成26年度赤穂市教育プランを策定しており、本年度のプランは、「何をどうするのか」が分かるように、施策や事業の内容をより具体化し、相互の関連とつながりを視覚的に表現しています。

【全体像の概要説明】

赤穂市は、基本理念『あすの赤穂をになう ころろ豊かな人づくり』の具現化に向け、市民がともに学び合う「学びの共同体」として、温かく支え合う地域社会づくりを進めます。また、家庭や関係機関・団体、行政、企業などが連携・協働することで、学校園所教育と社会教育がそれぞれ有効に機能するとともに、相互に補完・融合しながら、「もの」や「いのち（ひと）」を大切に「豊かなころろ」を未来へとつないでいきます。また、「生きる力」を育み、将来の自己実現につながるよりよい

「生き方」を学ぶキャリア教育推進の観点から、それぞれの施策を「点」として捉えるのではなく、全ての施策が「面」としてつながりと広がりを持ち、さらには、時間を加えた三次元の立体構造環境の中で、相互に刺激や影響を与え合いながら、教育の目的を達成していきます。

学校園所教育では、子どもの発達を考慮しながら、より強い校種間の連携と一貫教育を、中学校区内の学校園所間の連携と一体的に展開します。また、学校第三者評価による客観的で専門的な点検を実施します。この取組の成果として、学校園所教育がさらに充実されることは、「第三者委員会」の最終提言を具体的に実現することにもつながっていきます。

社会教育においては、各担当課の重点目標を円柱上部に記載し、目標達成のために展開する施策や事業を側面に記載しています。各課が相互に連携・協力しながら、一体となって取り組むという意図から、円柱を隙間なく並べています。

これらの取組を実効あるものにするため、計画、実行、点検・評価、行動の一连の流れ（PDCAサイクル）を大切に、適切な点検と評価を受けながら、改善を「目に見える行動」で示していきます。

教育委員長 池本 芳文



新緑の季節を迎え、皆様方には赤穂市教育委員会の運営にあたり、ご支援・ご協

力を賜り、厚く御礼申し上げます。人事も新たに平成26年度がスタートしました。新年度の方針として、「平成26年度赤穂市教育プラン」を作成し、この一年間に何を成すべきか、目的・目標を具体的に定め実施に向けて活動しております。

学校園所関係では、第三者委員会最終提言の具体化を進めることとし、子どもたちがいきいき、のびのび・すくすくと学習できるよう、地域と共に学校園所間の連携を深め、学校力向上を目指します。耐震化による施設の安全対策、スポーツ都市宣言を契機とした各種大会の実施、給食事業ではpen（ペン）食器の導入等、安全・安心の食の提供、図書館事業では電子書籍の購入、利用者の要望への対応、さらに文化財の保護推進等と内容は多岐に亘っております。

これらの事業を実施する為には、組織内はもちろんの事、皆様方とのコミュニケーションが何よりも大切なことだと思っております。今後とも実施に向けご協力よろしくお願ひ致します。

※平成26年度「赤穂市教育プラン」は、裏面に記載

～“あすの赤穂”をになうこころ豊かな人づくり～

『こころ』をつなぐ

『もの』をつなぐ

『いのち(ひと)』をつなぐ

キャリア教育の推進 未来(あす)を創る

生きる力
夢・希望・健康・生きがい・誇り

生涯学習の推進

—第三者委員会 最終提言具体化—

- 中学校** いきいき
小学校 のびのび
- 指導内容の工夫と指導方法の改善によるわかる授業、児童生徒が活躍する授業の実現
 - 特別支援教育指導補助員の資質向上を図るための研修会の実施
 - タブレットを活用した特別支援学級の授業活性化
 - 教職員研修の実施と教科等研究部会の充実
 - 「人権教育推進上の基本事項」強化月間の設定による意識化
 - 児童・生徒会活動への支援拡充による児童生徒の自主自立の促進
 - 市内統一の「いじめ実態調査」と「児童・生徒会交流会」の実施
 - 子どもの主体性と可能性を活かした「いじめ・暴力追放」市民大会の開催
 - 「早寝・早起き・朝ごはん」運動の展開による、基本的生活習慣の定着
 - 運動に親しみ、体力づくりをすすめるための指導の工夫
 - いじめ・不登校などケースに応じた家庭訪問及び保護者との協働による課題解決
 - 小・中学校間の教職員短期交流と相互授業参観の実施
 - 中学校への円滑な進学を実現するための小・中学校相互の生活環境の改善
 - 「学校業務改善」の推進による児童生徒と関わる時間の確保
 - P.T.A.連合会「みんなの声」の購読拡大を通じた子育ての意識化
 - 放課後子ども教室・アフタースクールとの連携強化（小学校）

- 保育所** すくすく
幼稚園 すくすく
- 「楽しむ・考える・挑戦する」保育活動の充実
 - 「わかる」「喜んで」出来るための視覚支援教材等を含めた補助教材の開発
 - キャリア研修の充実と異校種間の研究保育・研究授業への参加
 - 「おはよう」「ありがとう」「ごめんさい」等のあたたかい言葉の生活化
 - 特別支援教育指導補助員の研修の充実と担任との連携強化
 - 体力・運動能力の増進と「早寝・早起き・朝ごはん」運動を全園所90%にまで実現
 - 曜日を設定し、子育て相談を月2回実施
 - 保育士人材確保に向けた潜在保育士研修会の実施
 - 子ども子育て支援新制度における事業計画の策定
 - P.T.A.連合会「みんなの声」の購読拡大を通じた子育ての意識化

学校園所教育と社会教育との融合

- 施設・設備の充実 生涯学習の充実**
- 9学校園（尾崎小、高雄小、赤穂中、赤穂西中、赤穂東中、赤穂西幼、御崎幼、坂越幼、高雄幼）の耐震補強工事による耐震性の促進
 - 高雄小学校への太陽光パネル設置による地球温暖化対策等の推進
 - 4小中学校（尾崎小、御崎小、高雄小、赤穂中）の大規模改築事業による教育環境の向上
 - 3幼稚園（赤穂幼、塩屋幼、尾崎幼）の園舎改築に向けた実施設計の実施
 - 雨水の排出を抑制して良好な水環境をつくるため、学校に雨水貯留タンクを設置
 - 学校施設の安全対策を図るため消防施設等の改修を実施
 - 小学校にデジタルテレビを設置し、デジタル教材を活用した新たな授業を展開
 - 保護者の負担軽減のため小学生の通学にかかるバス・電車定期代の全額補助、中学生の自転車通学のヘルメット購入費用の全額補助
 - 浜市土地区画整理事業に伴う坂越中学校敷地内特別留地の継続取得
 - 文化施設の施設整備と資料の収集（利用環境の快適性向上、郷土ゆかりの資料収集）
- 生涯スポーツの普及・振興**
- 市民の健康づくりのための市民総合体育祭や、囲碁ボール・室内カーリングなどのニュースポーツ大会の実施
 - 忠臣蔵旗少年剣道大会及び各種市民会の交流大会等を通じた北海道砂川市や熊本県山鹿市、愛知県西尾市との友好親善都市スポーツ交流の実施
 - 体育の日のスポーツイベントや少年野球・中学野球・高校野球の観賞試合、バスケットボールクリニックなどのスポーツ先進都市推進事業の実施
 - 体育協会やスポーツ少年団、スポーツクラブ21などの組織活性化と相互の連携・協力による団体の育成強化及び、指導者養成の実技講習会や研修会を年3回実施
 - 忠臣蔵旗少年剣道大会や赤穂シティマラソン大会を通じて、赤穂の魅力と活気あふれる忠臣蔵のふるさと播州赤穂を全国に発信
 - 近畿高等学校剣道選抜大会や赤穂義士杯少年柔道大会、赤穂義士杯争奪ゲートボール大会などの広域大会の実施
 - 青少年の新規スポーツ交流大会として、赤穂市長旗争奪少年野球大会を開催
 - 安全で快適な施設の利用促進と利便性を向上するため、市民総合体育館や地区体育館などの施設破損・老朽化に伴う修繕や、コースロープ等の備品更新
 - 赤穂市スポーツ推進計画に掲げる施策を積極的に推進するため、スポーツ連絡協議会の年3回実施や、スポーツ実態調査の分析及びスポーツ先進都市の視察
- 給食事業の充実・適正運営**
- 衛生管理強化のために、雨漏り防止工事を実施
 - PEN食器（仕切り皿）の導入
 - 安全な作業環境整備のために、倉庫建て替えと工作室の修繕
 - 給食施設設備の日常点検と薬剤師による定期点検の実施
 - 食中毒対策として3回の職員研修と必要に応じて職場会議を実施
 - 地産地消の推進として赤穂産産物・地産産物を3回実施
 - 赤穂産の米粉を使った米粉パンを5回実施
 - 脱脂粉乳を使わないパンの導入
 - 警報発令時対応、アレルギー対応等について指導課・学校園との連絡調整の強化
 - 学校給食標語コンテストを実施し、標語を配送車に貼り付けて市民啓発
- 図書館事業の充実と適正運営**
- 図書整備の充実のため図書館蔵書を計画的購入（年6,000冊）
 - 読書活動の推進のために新刊案内、話題の本コーナー設置による図書情報提供
 - 周辺地区を対象としたブック宅配サービス利用促進のため、広報、図書館ホームページ等によりPRを実施
 - 電子図書館サービスの充実のため電子書籍を計画的に購入（年1,500点）
 - 子ども読書活動推進計画の推進のため読書通帳によるチャレンジ読書の実施（年2回）とブックスタート（絵本との出会い）事業の継続推進
- 地域文化の顕彰・整備**
- 赤穂城跡二之丸石垣修理等の史跡整備の推進
 - 東有年・沖田遺跡公園復元住居屋根替替等の文化財施設整備の推進
 - 有年土地区画整理事業地・民間地開発等に伴う発掘調査の実施
 - 有年春礼・井田遺跡の出土遺物整理調査の推進と発掘調査報告書の刊行、赤穂城下町跡出土木製遺物保存処理等による出土遺物の適正管理
 - 田淵氏庭園等の指定文化財の保存修理の推進
 - 坂越の船祭映像記録調査の完了
 - 「文化財をたずねて」等の刊行、指定文化財説明看板等設置による保存顕彰の推進
 - ホームページによる情報発信、文化財保護連絡員活動による普及啓発を毎月実施
 - 赤穂城跡、有年遺跡公園、田坂越浦会所の施設管理と公開実施
 - 有年考古館における特別展・企画展等の5回実施、体験学習会・講演会等の実施
 - 「図説赤穂市史」「赤穂史百話」の編集・発行による市史等編纂事業の推進

校種間連携・一貫

学校園所間連携

家庭・関係機関・団体・行政・企業(事業所)等との連携・協力

地域社会（学びの共同体）

P-D-C-A (気づき 考え 行動する)
(計画) (実行) (点検・評価) (行動)

第三者・関係者評価

新年度の出発にあたって



教育長
室井 久和

「子どもは私たちの希望の光であり、未来を創る力」です。教育という尊い営みに関わっている事実を改めて感謝するとともに、その重責を強く認識しているところです。

一昨年の、7月17日は、全国を駆け巡ったいじめ・暴行傷害場面の動画が配信された日であり、私たちは決して風化させることはできません。本市教育の再出発のため、本年度も第三者委員会浅野良一委員長の「思い」をかみしめ、取組の指標としていきます。

一、実践のプロセスや結果の「見える化」
二、教育を市民共通の関心事として「風通し」のよい相互関係の構築

三、学校力（教師の授業力）の向上、組織力（チーム力）の向上

子どもの健やかな育ちのため、教育に関わる全ての人と協力・協働し進んでまいります。

細部に魂やどる

教育委員長職務代理者
中村 良廣



新学年も始まり、児童生徒達も気持ちも新たに、通学していることと思います。すべての子どもたちが、元気に楽しく学校に通うこ

とが、教育委員たる私の偽らざる願いです。落ち込んだり、悩んだり、病気になるったりして、学校に通うことが、面白くないことのないように、しないといけません。その為には、私たち大人が、細心の注意をはらわないといけません。「これぐらいはいいか」「まあ、あとで注意しよう」「小さなことだから」と放っておくと、みるみる傷口が大きくなります。それは、児童生徒達にも、つらく悲しいことです。将来ある子たちが、些細なことから道を間違えることは、社会・地域にとつても損失です。健やかに立派な大人になり、社会に貢献してもらおうことが一番です。

「細部に魂やどる」という言葉があります。小さなことにこそ魂が宿っている、との気持ちを忘れず対応したいものです。

教育委員会・教職員はもとより、家庭・地域の方々の力も得て、安心・安全な学校を目指します。

親子の会話を大切に

教育委員
山本 千代



子どもが大きくなるにつれて、「家で話をしてくれない。」「親の話聴いてくれない。」といった事をよく耳にします。会話はとても

大切なコミュニケーションの手段です。

親が話を聞けば、子どもはどんどん話すようになり、話を聞いてもらった子は、人の話が聞けるようになると言われています。

そのためには、子どもが小さい頃から、私たち大人が「聞き上手になる事。」「また、「大切な事は、子どもに言葉で伝える。」といった言葉のキ

生きる力

教育委員
橋本捷一郎



「大学を卒業し就職した企業での仕事は、初めて見る問題解決ばかり。全くわからず、困り果てた。」私の中学校時代の友人の話です。

ところで、彼は小学生のとき、マット運動の回転ができず、できの悪い子どもだと言われたとのこと。そこで、これが得意な子に頼んで猛練習をした彼は見事に克服したという話を思い出しました。小学校時代の私にはとても考えつかない行動です。私は、彼の前に立ち塞がった様々な困難な問題を立派に解決し活躍してきた友の生き方の秘密を垣間見た思いでした。

悩みと向き合い、正直に思いを話すこと。そして何よりも感じたら動くこと。このような生き方によって問題が解決されるように思います。今の世、考えることから始めて行き詰まることが多いように思うのですが、いかがでしょうか。

「変化する社会を生き抜く力」を身につける支援ができたらと思っています。